

受領番号：

提出日付： 令和 7 年 12 月 26 日

モニター評価報告書

1. タイトル

地域コミュニティをデジタルで活性化することで、フレイル・認知症を早期発見する産官連携社会実証
--

2. 報告書の作成者

所 属 ・ 部 署	氏 名
サンダーバード株式会社	山根 洋平
連絡先（住所、電話、メールアドレス）	
〒371-0024 群馬県前橋市表町二丁目 10 番 19 号 グラン前橋 402 TEL:090-1807-0965	

3. 製品概要

①カテゴリ	レクリエーション用具・多目的ソフトウェア・機能訓練支援機器
②製品名	Paratech
③型番	PARATECH-2019
④製品コード	02379-000001
⑤希望小売価格	360,000 円（ライトプラン年間利用料・保守料込） ※別途ハードウェア一式（センサー、WindowsOS のノート PC）
機器の特徴	
⑥主な対象者	50 歳以上のシニア、要介護者、身体・精神障害者・障害児など
⑦利用場面	介護施設・障害者支援施設等におけるリハビリテーション・介護予防・レクリエーション
⑧目的	顔、体の動きをカメラやセンサーが検知し、直感的に自然に楽しく運動出来る自立支援トレーニング・レクリエーション
⑨利用安全の対策（リスクアセスメント）	
座位または車いすに乗ったまま利用可能にしております。	

4. 評価結果

①実施機関	群馬県玉村町地域コミュニティ 3 箇所	
②実施期間	令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 6 年 2 月 2 8 日（ 8 日間）	
③評価に係った職種等	群馬県玉村町町長、群馬県玉村町健康福祉課課長、国立大学教授	
④評価結果	(1) 対象者	群馬県玉村町地域コミュニティ 3 箇所を利用している地域住民の方
	(2) 人数	62 名（平均年齢 79.8 歳）

④評価結果	(3) 手法	月に2回、1回あたり60分間、「Paratech」を使ったレクリエーションを実施。実施後のデータをもとに認知症予防・フレイル予防のための兆候を捉えることができるかを検証。
	(4) 結果	データ分析結果より変化が特に顕著な10名を抽出した（平均値、標準偏差との差より、国立大学教授により抽出いただいた）結果、次のとおりとなった。 ・認知機能低下の疑い（5名） ・身体的フレイルの可能性（5名） 地域コミュニティ代表者からのヒアリングも行い、次のとおりとなった。 ・認知機能低下の疑い（上記のうち1名） ・身体フレイルの可能性（上記のうち3名） データからの分析と、責任者の認識のすり合わせを行った。
⑤モニター評価から得られた効果		
複数人でプレイするコンテンツにおいては、体験者同士の交流が生まれ声を掛け合う様子が伺えた。体験者の身体的なトレーニングだけでなく、精神的にもプラスになる要素があることが分かった。 また、1人でプレイするコンテンツであっても、周囲で応援・声援をし、拍手をする人も多く見られた。地域コミュニティではこれまであまり見られなかった大きな声を出すこと、笑い合うことなど、レクリエーションをきっかけに良い雰囲気が生まれ、それによって知人を誘う人が増え、活動日の参加者が増えた。		
⑥期間中に発生した事故・ヒヤリハット		
なし		
⑦期間中に発生した機器等の不具合や故障、修理や調整等		
なし		
⑧所感（使用にあたっての意見・感想）※モニター実施機関コメント		
【群馬県玉村町町長】 ・高齢化による町の課題はこれからも増えていく ・企業と町が一体となって取り組んだことは大きな成果となった ・玉村モデルとして町内や町外に展開していくことを期待している 【群馬県玉村町健康福祉課課長】 ・すごく良い活動だった ・こうした活動でつながりが増えてほしい ・自分自身の健康にも興味を持ち、隣人も気にかけるような町にしたい。さらには子供も混ぜた活動にしたい 【国立大学教授】 「からだシーソー」は、体幹側屈や肩外転の可動域維持だけでなく、動作中にバランス感覚・空間認知・左右協調性を同時に活用するため、認知機能の活性化にもつながります。特に、姿勢制御と視覚・前庭感覚・固有感覚の統合を必要とする運動は、前頭前野や小脳の活動を促し、認知症予防に有効とされます。 また、下肢・体幹の筋力維持や柔軟性向上は、転倒リスクの低減と生活機能の維持に直結し、フレイル予防の観点からも重要です。継続的な実施により、身体機能と認知機能の両面から高齢者の自立支援に寄与することが期待されます。		



地域コミュニティ（公民館）で開催された体験会の様子

5.モニター評価後の特記事項・連絡事項

--